

高1数学 授業を始めるにあたって

1. 授業に必要なもの

- (1) ノート 3冊 (中学と同様、授業用1冊、提出用2冊) ※ルーズリーフ不可
- (2) リングファイル (ワークシート形式で授業を進めます)
- (3) テキスト 2冊 (数学I・数学A)

2. 授業の進め方

(1) POINTをつかむ

中学のときと同じく、ワークシートで授業を進めていきます。WS1枚につき1テーマとなっています。例題→練習問題の流れはかわらないのですが、高校数学では、例題と全く同じではないことも多々あります。原理が同じでも、問題の振れ幅が大きいのです。例題でしっかりPOINTを押さえて、目先がちょっと変わっただけでできなくなるようなことのないように根本を理解しましょう。もちろん授業中の演習も大事。わからないところは聞いてから帰りましょう。わからないままにしないように。

(2) Patternで学ぶ

1つのテーマの中にはマスターすべき問題のパターン(*Pattern*)がいくつかあります。この「*Pattern*」とそれに対応する「*POINT*」を理解し、そして問題を解けるようになることが高校数学の最大の目的です。(1つのテーマに*Pattern*は2~3個あります。)

(3) 間違い直し・宿題・小テスト

授業で*Pattern*を学習しても、すぐに忘れてしまいます。定着させなければ意味がありません。そこで、間違い直しと宿題をすることで定着させ、小テストでしっかり定着しているかを確認します。

よって、授業の流れは「宿題の復習→小テスト→POINTの学習→Patternの練習」となります。

3. 約束

(1) 休まない

高校数学は週 1 回しかありません。1 度欠席してしまうと大きく遅れてしまい、次の授業がわからなくなります。中学で言うと、丸々1週間休むことと同じです。

万が一、欠席する際は**必ず授業前に本人が直接塾に電話で連絡**してください。そして、次の授業前に早く来て(40分以上前に来ましょう)、授業に追いつけるようにしましょう。

(2) 間違い直しを必ずやって提出する

やはりふればといえば間違い直し！！高校数学でももちろん間違い直しをしてもらいます。毎回ちゃんと出しましょう。問題を解くときや、直しをするときには **Pattern** と **POINT** を確認しましょう。そうすることで、授業で定着しきれなかったことも学ぶことができます。間違い直しを 2~3 度繰り返し行い、その後類題をこなすことで効果が上がります。また、塾で間違えた問題だけでなく、学校の授業で間違えた問題の直しをすることも実力をつけるためにはいい方法でしょう。

(3) 宿題

毎回宿題を出します。宿題は基本的な「必須問題」と応用的な「課題問題」を出します。課題問題は必須とはしませんが、ライバルと差をつけるために意欲的に取り組みましょう！これからも宿題も直しノートにやって提出してもらいますので、○付けと直しをやって、毎回ちゃんと出しましょう。

(4) 目標

やるからには目標を持ちましょう。高1数学の内申で5をとることで、1年のうちに5をとって数学を得意教科にすることは、必ず2年、3年、そして大学受験につながっていきます。

(5) 試験対策

高校では試験期間・試験範囲が学校によって異なるため、試験対策を授業で行いません。試験3日前～試験中は休んで構いませんが、必ず試験明けに補習を受けてください。試験前になったら、早めに自分で準備をして、質問しに来てください。

4. 連絡先

英和ふればある : 046-865-9330 ←休みの連絡は必ずここに！！

それでは、1年間楽しく数学を学んでいきましょう！！



※HP に授業動画や解説動画もアップしていきます。こちらにアクセスしてみましょう。

https://www.prepearl.com/r5_h1